



資料1

第23回かながわ食育推進県民会議

「第4次神奈川県食育推進計画」 （案） について

神奈川県 健康医療局 保健医療部 健康増進課

令和5年1月31日

本日の説明事項（目次）

1 「第4次神奈川県食育推進計画」（案）について

- (1) 前回までの振返り／今回会議の目的・論点
- (2) 第22回かながわ食育推進県民会議でいただいた御意見の反映
- (3) パブリック・コメントでいただいた御意見の反映
- (4) その他時点修正等

2 今後のスケジュール

1 「第4次神奈川県食育推進計画」(案)について

- (1) 前回までの振返り／今回会議の目的・論点
- (2) 第22回かながわ食育推進県民会議でいただいた御意見の反映
- (3) パブリック・コメントでいただいた御意見の反映
- (4) その他時点修正等

1 (1) 前回までの振り返り／今回会議の目的・論点 ①

前回（令和4年11月17日開催）までの振り返り ①

- 第3次計画との連続性を考慮し、全体構成等は基本的に現行計画と同様にする。

I はじめに

II かながわの食をめぐる現状

III 神奈川県が目指す食育の方向

IV 食育推進の施策展開

V ライフステージごとのテーマと取組例

VI 推進体制

参考

1(1) 前回までの振り返り／今回会議の目的・論点 ②

前回（令和4年11月17日開催）までの振り返り ②

- 「基本方針」は、国第4次計画の重点事項を基に、「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」及び「持続可能な食を支える食育の推進」に更新する。
- 国のもう1つの重点事項『「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進』は、「横断的な視点」として、各取組の中へデジタル化の視点も入れていくこととする。

基本方針(第3次計画)

健康な体をつくる

豊かな心を育む

食への理解を深め「神奈川の食」に親しむ

基本方針（第4次計画）

生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進

持続可能な食を支える食育の推進

【横断的な視点】

「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進

1 (1) 前回までの振返り／今回会議の目的・論点 ③

基本方針	指標	目標値 (9年度)
生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	①主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている県民の割合	60%以上
	②主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代(20～39歳)の割合	40%以上
	③朝食を欠食する県民の割合 ア 小学6年生 イ 中学3年生 ウ 15～39歳 (内訳) (15～19歳 男性 女性) (20～29歳 男性 女性) (30～39歳 男性 女性)	0%に近づける
	④一日当たりの平均野菜摂取量	350g以上
	⑤一日当たりの平均食塩摂取量	8g未満
	⑥一日当たりの平均果物摂取量100g未満の県民の割合	30%以下
	⑦ゆっくりよく噛んで食べる県民の割合	60%以上
	⑧朝食・夕食を家族と食べている、又は一人暮らしの方で、昼食・夕食を仲間など複数で食べている「共食」の回数	〔家族〕週11回以上 〔一人暮らし〕週2回以上
	⑨食育に関心を持っている県民の割合	90%以上
	⑩食育の推進に関わるボランティアの数	6,178人以上
	⑪食品の安全性に関する知識があると思う県民の割合	90%以上

基本方針	指標	目標値 (9年度)
持続可能な食を支える食育の推進	⑫栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	月12回以上
	⑬学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース)を現状値から維持向上した市町村の割合	90%以上
	⑭学校給食における国産食材を使用する割合(金額ベース)を現状値から維持向上した市町村の割合	90%以上
	⑮いただきますなど食への感謝を表すあいさつや、箸の持ち方など、食事のマナーを正しくできていると思う県民の割合	90%以上
	⑯農林水産業の体験や伝統ある食文化を伝えていく機会や場があることに満足している県民の割合	7.2%以上
	⑰地元でとれた新鮮な野菜や魚を食べられることに満足している県民の割合	30%以上
	⑱環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶよう心掛けている県民の割合	75%以上
	⑲食べ物を無駄にしないよう気を付けている県民の割合	96%以上

1(1) 前回までの振返り／今回会議の目的・論点 ④

今回会議の目的・論点

- 前回会議における御意見や、パブリック・コメントにおける御意見等を反映し、「第4次神奈川県食育推進計画」(案)を作成したため、計画(案)の内容を議論いただきたい。

【素案からの変更点の概要】

- ・ 前回の県民会議でいただいた御意見の反映
- ・ パブリック・コメントでいただいた御意見の反映
- ・ その他時点修正（現状値の最新値が判明した指標の目標値設定）等の実施

1 (2) 第22回かながわ食育推進県民会議でいただいた御意見の反映 ①

資料3 第22回かながわ食育推進県民会議意見整理表

- ・ 令和4年11月17日開催
- ・ 意見整理表と反映状況の詳細は資料3のとおり

〔主な修正部分〕

- ・ 指標の表現修正、注釈追加
- ・ 取組の追加
- ・ コラムの修正
- ・ 施策展開のリード文の修正

1 (2) 第22回かながわ食育推進県民会議でいただいた御意見の反映 ②

ア 指標の表現修正、注釈追加

	委員名	意見概要	反映状況
19	吉岡委員	指標⑮「いただきますなどのあいさつや、箸の持ち方など、食事のマナーを正しくできていると思う県民の割合」へ、「感謝」というキーワードも入れるとよい。	(計画案p.24修正) ⑮いただきますなど <u>食への感謝を表す</u> あいさつや、箸の持ち方など、食事のマナーを正しくできていると思う県民の割合
6	中村委員	指標⑮「環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶよう心掛けている県民の割合」につき、何をもって「環境に配慮した」ものであるかを具体的に示さないと消費者が判断できない。	(計画案p.24注釈追加) (注4)「環境に配慮した農林水産物・食品」とは、化学農薬や化学肥料の使用を避けることを基本とした有機農産物・食品や、輸入に伴う輸送に係る二酸化炭素の排出量が抑制される国産飼料を活用した畜産物、過剰包装でなくゴミが少ない商品などのことを言います。
20	吉岡委員	指標⑯「食べ物を無駄にしないよう気を付けている県民の割合」につき、具体的に何が「食べ物を無駄にしない」行動なのか、分かるようにするとよい。	(計画案p.24注釈追加) (注6)「食べ物を無駄にしないよう気を付けている」とは、食品ロスを減らすため、「食品を買いすぎない、料理を作りすぎない、食べ残さない」など、日々の食生活の中で実践する、ちょっとした気遣いや行動のことを言います。

1 (2) 第22回かながわ食育推進県民会議でいただいた御意見の反映 ③

イ 取組の追加、コラムの修正

	委員名	意見概要	反映状況
4	荒川委員	食品衛生以外の安全性（アレルギーへの理解及びカフェイン摂取への理解）に関する教育啓発も実施していくことを、素案Ⅳ 2 (2) ア(カ)「食の安全への理解促進」辺りに入れるとよい。	➤ （計画案p.39「食の安全への理解促進」） 「食物アレルギーへの理解促進」追加 ・ ホームページ等での啓発 ・ 研修会・講演会の開催 ➤ （計画案p.9コラム「おいしく、楽しく、きちんと食べよう」） 嗜好品の摂取に係る記述を追加
21	吉岡委員	高齢者の共食に係る取組として、「通いの場」というキーワードを入れられるとよい。	➤ （計画案p.36「地域での食育の推進」） 「高齢者の通いの場の取組への支援」追加 ・ 市町村が実施する高齢者の通いの場の取組に、アドバイザーを派遣する等支援

1 (2) 第22回かながわ食育推進県民会議でいただいた御意見の反映 ④

ウ 「地域での食育の推進」 リード文の修正

	委員名	意見概要	反映状況
4	荒川委員	貧困問題、食べるということそのものの大切さを子どもや家庭に伝えていくことにつき、何か入れられるとよい。	(計画案p.35 IV食育推進の施策展開修正) (ウ) 地域での食育の推進 生涯を通じて健康な生活をおくるためには、それぞれの年代に応じた望ましい食生活を身につけることなどが必要です。 <u>また、家庭生活の状況が多様化する中で、家庭や個人だけでは、健全な食生活の実践につなげていくことが困難な状況も見受けられます。</u>
21	中村委員	貧困の中でも、食べること、栄養のバランスを取ることが大事だという教育は必要。	そこで、全ての県民が、それぞれの年齢や<u>家庭生活の状況</u>に応じた食生活の改善に取り組めるよう、市町村、団体、事業者等と連携し、地域での食育を進めます。

1 (2) 第22回かながわ食育推進県民会議でいただいた御意見の反映 ④

エ その他御意見への対応状況

- ・ IV 2 施策展開（家庭での食育の推進）のリード文の修正
（パブリック・コメントでも御意見がありましたので、後程ご説明）
- ・ VI 5 計画の達成状況の点検及び評価の記載修正

その他御意見への対応状況は資料3をご覧ください。

資料3 第22回かながわ食育推進県民会議意見整理表

1 (3) パブリック・コメントでいただいた御意見の反映 ①

ア 意見募集結果の概要

- ・ 令和4年12月15日～令和5年1月14日の期間で実施
- ・ 全61件の意見が提出された。
- ・ 提出された意見と反映状況の詳細は資料 4 のとおり

資料4 計画改定案に係る意見募集結果整理表

意見内容区分		件数
ア	計画策定の趣旨	1
イ	食をめぐる現状	13
ウ	県が目指す食育の方向	9
エ	施策展開等	28
オ	参考（第3次計画の評価等）	3
カ	その他（感想・質問等）	7
計		61

〔主な修正部分〕

- ・ 計画趣旨・基本理念の修正
- ・ 取組の追加、修正
- ・ 施策展開のリード文の修正
- ・ 図表の体裁の修正

反映区分		件数
A	計画案に反映するもの	32
B	計画案には反映しないが、既に取り組んでいるもの	11
C	今後の施策運営の参考とするもの	12
D	反映できないもの	3
E	その他（感想・質問等、A～Dに該当しないもの	3
計		61

1 (3) パブリック・コメントでいただいた御意見の反映 ②

イ 計画策定の趣旨、基本理念の修正

- ・「食は命の源である」という表現を追加

意見 番号	意見概要	修正した基本理念
8	神奈川県として未病改善に力点を置いていることは理解するが、「食」について説明する前に未病の記述を持つてくるのは唐突感がある。	(計画案p.2、p.22) 「食」は <u>命の源であり、私たち人間が生</u> <u>きるためには欠かせないものであることか</u> <u>ら、未病を改善するための重要な要素とし</u> <u>ています。</u> 県民一人ひとりが食に関する理 解を深め、健全な食生活を実践することが、 生涯を通じた心身の健康につながります。
23	「食は未病を改善するための重要な要素」とあるが、食は身体を作る重要な要素でもある。	「食」は、自然の恩恵や、食に関わる 人々の様々な行動の上に成り立っており、 そのことへの感謝の念や理解を深めること が、持続可能な食につながります。
38	未病改善の前に「食は命の源」であることを明記すべき	

1 (3) パブリック・コメントでいただいた御意見の反映 ③

ウ 取組の追加

- ・ 2つの取組内容を追加

意見 番号	意見概要	追加した取組内容
2	国4次計画では「災害時に備えた食育の推進」としてその重要性について記載があるが、県計画では触れられていない。県計画にも盛り込む必要がある。	(計画案p.36「地域での食育の推進」) <u>「災害時に備えた食育の推進」</u> ・ <u>地震防災チェックシートを活用し、非常食の備蓄の重要性を含めた災害対策について周知啓発を行う。</u>
12	フードバンクの活動は食品ロス削減にも寄与するので、食品ロス削減の取組として位置づけ、情報提供と普及啓発をお願いする。	(計画案p.47「食を取り巻く環境への理解促進」) <u>「食品ロス削減に関する普及啓発」</u> ・ <u>フードバンク活動への理解や協力を促進するための普及啓発の実施</u>
18	食品ロス削減に関する普及啓発の内容として、フードバンクの啓発と情報提供を位置付けることを要望する。	

1 (3) パブリック・コメントでいただいた御意見の反映 ④

エ 「家庭での取組の推進」 リード文の修正

意見 番号	意見概要	修正したリード文
44	「食事が終わるまでに食べることに集中する」の記載位置に違和感がある。	(計画案p.31、p.41) 家庭は、子どもが健やかに成長するための基本的な食習慣を身につけたり、 <u>「いただきます」等、食への感謝を表すあいさつを行うなど</u> 、食を大切にする心を育てる場であり、生涯を通じて健康で豊かな生活をおくるための <u>基礎を築く</u> 場でもあります。
45	「食の外部化の進展」が悪いイメージに感じる。上手に利用することが持続可能な食を支える食育なのでは。	ライフスタイルの変化や、中食や外食など <u>の</u> 「食の外部化」の進展、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」への対応等、食を取り巻く環境は変化しています。
47	いただく命や食卓に届くまでに関わる人々に感謝し、食べ物を大切にしてきたことなどの記述を検討し、「いただきます」等あいさつの大切さの継承を推進していただきたい。	また、朝食の欠食等、食生活や食習慣の乱れ <u>の問題も</u> 生じています。 そこで、子どもはもとより、県民一人ひとりが自らに合った望ましい食生活をおくることができるよう、学校、団体、事業者等と連携しながら、家庭における食育の推進を図ります。

1 (3) パブリック・コメントでいただいた御意見の反映 ⑤

オ その他御意見への対応状況

- ・ 計画案28～30ページで☆マーク（デジタル化に対応した取組）を付けた取組について、31ページ以降で具体的なデジタル化の対応を記載（研修会をオンラインも活用して開催 等）
- ・ コラムの表現修正
- ・ 図表の体裁の修正 など

その他御意見への対応状況は資料4をご覧ください。

資料4 計画改定案に係る意見募集結果整理表

1 (4) その他時点修正等 ①

ア 「県民ニーズ調査（課題調査）」結果等の追記

- 令和4年度「県民ニーズ調査（課題調査）」結果（R4.12.19発表）等を反映し、7点の指標の現状値及び目標値を記載（下線部が追記した部分）。
- 現計画の目標値を達成できていないため、4次計画も現計画と同様の目標値とした。

指標	現状値 (4年度)	目標値 (9年度)	(参考)国目標値 (7年度)
⑦ ゆっくりよく噛んで食べる県民の割合	<u>58.8%</u>	<u>60%以上</u>	55%以上
⑧ 朝食・夕食を家族と食べている、又は一人暮らしの方で、昼食・夕食を仲間など複数で食べている「共食」の回数	<u>【家族】</u> <u>週9回</u> <u>【一人暮らし】</u> <u>週2回</u>	<u>【家族】</u> 週11回以上 <u>【一人暮らし】</u> 週2回以上	<u>【家族】</u> 週11回以上
⑨ 食育に関心を持っている県民の割合	<u>77.6%</u>	<u>90%以上</u>	90%以上
⑩ 食育の推進に関わるボランティアの数	<u>6,178人</u>	<u>6,178人以上</u>	37万人以上
⑪ 食品の安全性に関する知識があると思う県民の割合	<u>89.3%</u>	<u>90%以上</u>	(80%以上)
⑮ いただきますなど食への感謝を表すあいさつや、箸の持ち方など、食事のマナーを正しくできていると思う県民の割合	<u>75.1%</u>	<u>90%以上</u>	—
⑲ 食べ物を無駄にしないよう気を付けている県民の割合	<u>93.9%</u>	<u>96%以上</u>	(80%以上)

1 (4) その他時点修正等 ②

イ その他の修正

(計画案6～20ページ)

Ⅱ かながわの食をめぐる現状 グラフを最新版に更新

- 1 (5) 食育に関への関心
- 2 (2) 共食頻度
- (6) 食品ロスにかかる意識
- 3 (1) 食品の安全性に関する理解度

(計画案22ページ)

コラム“「持続可能で健康的な食事に関する指針」について”を追加

(計画案59～65ページ)

〈参考〉第3次神奈川県食育推進計画の評価 指標の現状値を最新版に更新

- ①主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を心がけている県民の割合
- ②朝食を欠食する県民の割合 小5・中2
- ⑤ゆっくりよく噛んで食べる県民の割合
- ⑥食育の推進に関わるボランティアの数
- ⑦就寝前2時間以内に食事をとらないよう気を付けている県民の割合
- ⑧食育に関心を持っている県民の割合
- ⑨朝食・夕食を家族と食べている、又は一人暮らしの方で、昼食・夕食を仲間など複数で食べている「共食」の回数
- ⑫食事のマナーを正しくできていると思う県民の割合
- ⑮食べ物を無駄にしないよう気を付けている県民の割合
- ⑯食品の安全性に関する知識があると思う県民の割合

2 今後のスケジュール

2 今後のスケジュール

- 前回会議（令和4年11月17日開催）にてお示ししたスケジュールから変更なし。

日程	内容
1月31日 （本日）	第23回かながわ食育推進県民会議（今年度3回目） 「第4次神奈川県食育推進計画」（案）について
2月	神奈川県議会常任委員会へ計画案報告
3月	第4次神奈川県食育推進計画の策定

（参考）

令和5年度の県民会議は、例年通り年1回、令和6年1月頃を開催する予定です。

説明は以上です。